

新宮山参るゝ。沖崎回

再経宿・平治宿巡回整理帯

実施日 平成27年10月4日(土) 晴、曇

参加者 川島 ぬ、沖崎 吉信

大江 徳子、司 加予子、根木 俊明

須野 兼吉、生態 敏男、司 千満子

畑 林 赤い味、司 清子、東 真澄

丘 岡 実明、日 明、奥嶋 直尺

青木 広亮、以上15名

旧号台風が明日より紀伊半島に接近する由
何との無事に行事と終えたものと、おすおす
このごわと参加した。小生としては昨年の浦向道
補修、池畑林道の不通標示(多)、行仙宿カミト
掘付(多)、そして行仙宿宿泊大事故(多、せ)
以未すっかり体調を崩して、山どころか、もう山は
あきらめぬほむま、との瀬戸際に追いつまぬ、
一ヶ年半、仲間の皆さんに心配と迷惑をお掛け
した。

今回の持経い三空から千斗松までの軽いコースなら
逞馴らしと自信をつける為、我が家の介護長と
説き伏せて参加した。東さんも同様事情で同行
されたので、病相憐れむ心地でもあった。

新宮から便乗させて貰った車中、台風ぬらさまで
あるが、今日はこの二人の顔振りで大雨になら

半ば冗談、半ば本気で話合っているところ、途中の
サークル⑩で 符合わせの車は立ちこめ、車を
いる、一尾の穴カデが、座席に潜り込んで、殺虫剤
とにきつめるやうひと騒動。ムカデより人面のうの
穴、穴かば、今度は池畑林道「ゲート直前」で
大江車ババリア、細目の予備タイヤに交換、他人の
車のタイヤ、要具は、ケンケンゲクゲクとなって
満致の荷物と全部下ろし、二度目のババリアに気を
付けたよう、雑談と規制して運転に集中、どうやら
無事、戸時00分、持経に到着した。

平治組と二午に合かれて歩き出したもの、
いま一つの課題、布と我の不調である。持経
三又塔の切通しから上へはじめる初っ舞で東さん
かうしり向きに転倒、これは、ヤバイと私も含めて
慎重に行動開始、私以上に心配したのは奥子の
明であったろう。二人の介護役となつた上、可成りの
荷物と背負って、より神様とのかうせることである。
平治組は川島・沖崎・生態(千) 須野・畑林(道)

の名が、折うく協定する毛布10枚の「おん」と
ストロブの飛煙知恵の再調整に当てる、先行すよ。
残った根木、生態、青木、畑林、大江親子、奥嶋
らで、千斗松さきの大剣木の下除、同時に迂回路
の取付けに取組む。百巻 50センチ以上もみまき
の大留木は、ス台の千エインソーでも、仲々及ぶをぬ